

## 教育用ハードウェアゾーン



エプソンは電子黒板やプロジェクターを展示。



ソニーは教育関連のAV・コンテンツシステムを紹介。



CAD や研究室向けのハイエンドPCを出展したマウスコンピューター。



東芝は昨年に続いて模擬教室を展開。



シャープのブースでは、ネットワーク活用型の教育プラットフォーム「FLENS」の実演授業が行われた。

# 第3回 教育ITソリューション EXPO Report

## 教材・教育コンテンツゾーン



タブレットPCとデジタル教材を活用した次世代型授業を行った富士通。

京セラ丸善システムインテグレーションは、HPの授業支援ソフト「HP Classroom Manager」を展示。

## eラーニングソリューションゾーン



富士通はeラーニングで「新しい学びのカたち」を提案。

デジタル・ナレッジは学校法人向けから教育ビジネス向けのeラーニングソリューションを展示。

## 学校向け災害対策ゾーン



DISは「レスキュー PC ソリューション」を全面展開。



大掛かりな免震システムを用意したTHK。



## 学校 ECO 化ゾーン



オムロンは太陽光発電システムなどを紹介。



多彩な LED 照明を展示したアイリスオーヤマ。



そごう・西武は非常食や  
帰宅支援セットを紹介。

## 2万2,000人を超える来場者で賑わう

5月16日(水)～18日(金)の3日間、東京ビッグサイトで教育関係者向けのIT専門展「第3回教育ITソリューションEXPO」(EDIX)が開催された。EDIXは、教育関係者と教育向けITソリューションベンダーを結ぶアジア最大規模の商談の場。3回目を迎えた今回は、500社を超えるソリューションベンダーが出展し、小中高校や教育委員会のシステム導入権限者、大学の各学部の教授、教育市場専門の卸売業者や文具店・書店・事務機ディーラーなど2万2,000人を超える来場者で賑わった。

昨今、教育現場は様々な課題を抱えている。例えば、学校業務や経営の効率化、学生・職員情報管理の一元化、学力の向上、ECO化・省エネ化、災害対策の強化など。そうした課題を解決する手段として、教育用のハードウェアや教材・コンテンツ、業務支援システムなどが各ベンダーから出展された。

## ECO化と災害対策のゾーンを新設

今回から新たに二つの展示カテゴリが設置された。文部科学省が掲げる「環境を考慮した学校施設(エコスクール)の整備推進」を受けた「学校ECO化ゾーン」と、東日本大震災後に各教育

機関でも強化が進められている災害対策ソリューションをまとめた「学校向け災害対策ゾーン」だ。新たに設置されたこの二つのカテゴリは、今後の教育市場ビジネスの牽引役としても期待されているだけに、各ベンダーから力のこもったソリューションが展開された。

現在、教育市場は総務省が主導する「フューチャースクール推進事業」などによって、IT化の大きな変革時期を迎えようとしている。そうした中、教育関係者とソリューションベンダーを直接結び EDIX への出展は、各ベンダーにとって今後のビジネスに大きな影響を及ぼしそうだ。

次ページで東芝情報機器とDISの教育市場戦略・展示ブースを紹介!!

## 学校向けセキュリティゾーン



イメーションは指紋認証を活用したPCログインキーなどを展示。



フィルタリングソフトでセキュリティの確保を訴えるデジタルアーツ。

## 学校業務支援ゾーン



テスト業務の支援ソリューションなどを展示した富士ゼロックスシステムサービス。

NTTグループは、ブースを「学びエリア」と「校務エリア」の二つに分けて、それぞれのソリューションを展示。模擬教室でデモも行った。

東芝情報機器

## 21世紀に求められる授業形態を教育現場やパートナーと共に創出

昨年に引き続き東芝情報機器はデジタル教材を用いた模擬授業を展開した。その狙いや今後の教育市場戦略について、同社 PC 事業部の遠井和彦氏に聞いた。

### 模擬授業でITの活用効果をアピール

今回の模擬授業では、電子教科書とタブレット PC を使った算数の授業を再現しました。パソコン教室という特別の授業ではなく、通常の授業で PC を使うことで、授業の理解度が深められたり、協働学習が可能になることをアピールしています。

実際に実証実験も進められています。各自治体でタブレット PC などの

新たな端末を通常の授業で使ってみようという動きがかなり出てきているのです。新しいソリューションの提案や新たなビジネスを創出するいい機会です。

ただし、教育の IT 化市場では、1社ですべてをカバーすることはできません。今回の模擬授業も教科書メーカーや教育関連ベンダーの協力によって実現しています。関係するベンダー含めて、共に取り組んでいく必要があるのです。

### 教育現場と一体となって作りあげる

例えば当社では、タブレット PC のようなハードにデジタル教科書や認証ソフトなどを含めた授業パッケージを



東芝情報機器株式会社  
PC 事業部 公共営業部 部長  
遠井和彦氏

提案しています。普通の授業で使い勝手がよく、明日からでも投入できるソリューションに仕上げています。

現在は、ようやく電子情報ボードと教員用の電子教科書が導入され始めたところ。引き続き、教育現場と一体となって授業を作り上げていくような提案を、パートナーと共に行っていきます。

ダイワボウ情報システム

## 教育市場の開拓は今後数年間が勝負 提案パターンを確立し多くの商機獲得へ

学校向け災害対策ソリューションを出展した DIS。同社が思い描く教育市場戦略と今回の展示内容について、販売推進本部の土方祥吾氏に聞いた。

### 教育現場のICT活用を推進

政府が進める「教育の情報化ビジョン」では、21世紀の教育にふさわしい教育基盤を整備するために、2020年までに児童・生徒一人に情報端末1台を配備する目標を掲げています。ただし、教育現場では ICT を活用した学習や指導はまだ研究段階にあります。

そうした中で、これから数年間は非常に大切な期間です。自治体や教育現場への提案や支援を手厚くし、教育現場の ICT 利活用を推進していかなければ

なりません。

そのためにも全国の販売店様と一緒に教育現場に深く関わり、指導方法の変化などを理解することで、学力向上に効果的な提案パターンを確立し、多くの商機を見いだしていきます。

### 低コストの災害対策PCを実現

今回当社は「レスキュー PC ソリューション」を展示しました。学校の教育用 PC へ災害時に利用できるシステムを予め組み込んでおき、いざというときに使えるようにするソリューションです。普段は通常の PC として活用できるため、非常時用の PC を別に用意する必要がなく、トータルコストが抑えられます。



ダイワボウ情報システム株式会社  
販売推進本部 マーケティング部  
営業推進統括グループ マネージャー  
土方祥吾氏

ただし、導入には、各自治体の教育委員会や防災部門などあらゆる部署が関わることとなります。そうすると部署間での調整に必要以上に時間を要してしまうことがあります。

こうした課題を解決できるのは、現場に密着し横断的に商売をされている販売店様にほかなりません。従来以上に販売店様と協力してレスキュー PC ソリューションの拡販に努めていきます。

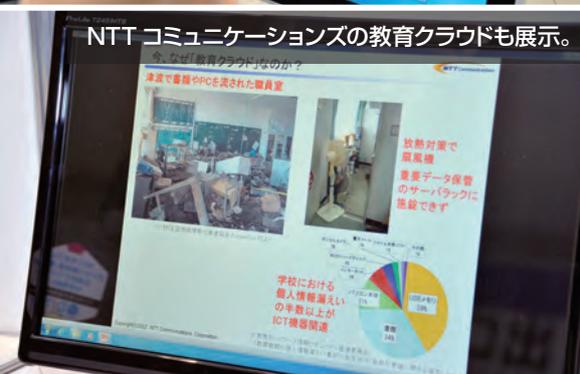
## 東芝情報機器ブース



顔やカラーコードを利用して簡単に個人認証が行える「@ Face for School」。



タブレット PC とデジタル教科書を使って模擬授業を行った。



NTT コミュニケーションズの教育クラウドも展示。



デジタルならば、紙では難しいシミュレーションが簡単に行える。写真は図形の面積の求め方をシミュレーションしているところ。



ネットワーク経由で生徒の解答を集計。



## DIS ブース



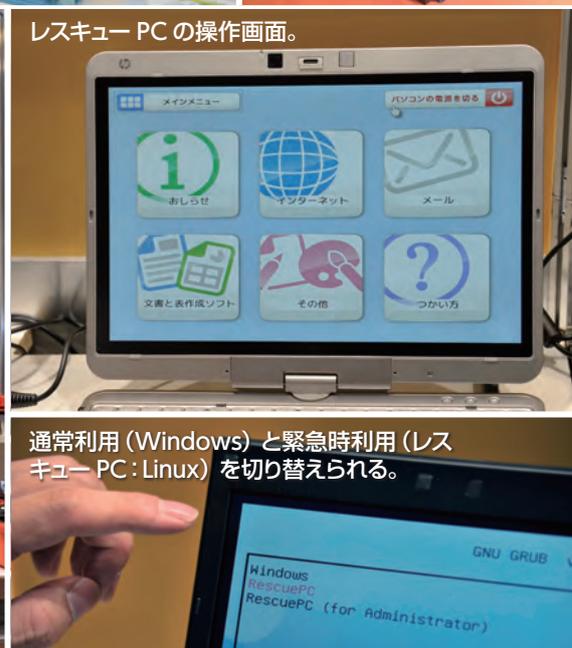
LED 懐中電灯や防水・耐衝撃ケースなども展示。



ソニーの業務用一体型リチウムイオン蓄電池。



様々な端末にインストールされたレスキュー PC。



レスキュー PC の操作画面。

通常利用 (Windows) と緊急時利用 (レスキュー PC : Linux) を切り替えられる。